



第30回日本臨床皮膚科医会 開催にむけて

会頭 栗原誠一



来年平成26(2014)年4月26日(土)～27日(日)、パシフィコ横浜において標記学会が開催されます。名目上は私が会頭に指名されましたが、第30回という節目の大会を鎌田英明会長を始めとした神奈川県皮膚科医会が任されたこととなります。医会をあげての大イベントになりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。会員の皆さまにも準備段階から当日まで多数の参画、ご参加をお願いいたします。

神奈川県皮膚科医会(神皮)と日本臨床皮膚科医会(日臨皮)のかかわりについては「神皮」18号の「所感2011」で説明しました。その際に資料として引用した神皮「20周年記念誌」(昭和61年発行)によると、昭和59年日臨皮の設立にあたって発起人や準備金などについて医会は全面的に協力し、日臨皮初代会長には安西喬先生(神皮の元幹事長)が就かれたとあります。そのように密接な関係があったにも拘わらず、当時横浜の病院に勤めていた私などに強制的な入会勧誘はありませんでした。いかにも神皮らしいですね。無理強いせずに、本人の自由な意思に委ねる。だからこそメンバーになったその日から日臨皮の活動を楽しめるのだと思います。現在は神皮会員のおよそ半数が日臨皮の会員になっています。未入会の方もこの大会を機会に、皮膚科医交流の世界を一緒に楽しんでください。

これまでに神奈川では日臨皮臨床学術大会が2回開催されています。第3回大会(昭和62年5月)は中野政男先生、第11回大会(平成7年6月)では加藤安彦先生が会頭を務められ、神皮の総力を挙げて企画運営し盛会であったことが記録されています。今回は日臨皮創立30周年記念式典も同時に開催されますので、栗原会頭-鎌田事務局長-各実行委員を中心にして、神皮ならではの企画力と実行力で皮膚科医の楽しさを全国に発信できればと思います。

1. 期日

平成26(2014)年4月26日(土)～27日(日)

まだ未決定なのですが、前日の4月25日(金)夕刻～夜に前夜祭を開催できたら面白いと思っています。実現するよう皆様の応援をお願いします。

2. 会場

パシフィコ横浜 会議センター

3. 学会のメインテーマ・コンセプト

「日臨皮30年 皮膚科を楽しもう」

日臨皮の創立30周年を祝う会でもあり単純明快なキャッチフレーズになりました。

4. 役員一覧

元会長の菅原信先生と県内4大学の教授にアドバイザーをお願いし、S&S、女性医師や若手対策などを重視して実務的な副会頭を2名置きました。

会 頭 栗原誠一

副会頭 増田智栄子、浅井俊弥

アドバイザー 菅原 信、勝岡憲生、小澤 明、相馬良直、相原道子

事務局長 鎌田英明

総務担当 川口博史、河原由恵

財務担当 宮川俊一

実行委員長 齊藤典充

<実行委員>

朝比奈明彦、天野隆文、井上奈津彦、尾作 文、小幡秀一、川上民裕、蒲原 毅、日下部芳志、小林誠一郎、澤田俊一、杉田泰之、高須 博、高橋さなみ、野村有子、畑 康樹、馬場直子、袋 秀平、馬淵智生、毛利 忍、望月明子、山川有子、渡辺知雄

5. 企画

役員名簿にプログラム委員の項目がないことに気づかれましたか？ 実行委員が企画テーマごとに班に分かれて、全員が企画立案に参加しているのです。アイデア満載ですよ～。

①S&S：“Signs & Symptoms”

この所見やその徴候をみた際に皮膚科医なら分かる共通の用語として、あるいは皮膚から全身疾患を窺う皮膚科医の素養として必須の「術語集」を意識しました。数人の講師に多数の例を解説していただいて目に焼き付けたいと思います。これに付随して“私のS&S”会員が見つけたサインやヒントを募集します。それらをまとめて2014年に雑誌「皮膚病診療」の特集号を発刊する予定です。

②LOS：“Life of Skin”

ゆりかごから〇〇まで、生涯を通してその時々々の皮膚について考察を加えます。

③JDC：“Joy Derma Club”

女医の視点で企画し、女性医師の働き方も含めて考えます。

④YDC：“Young Dermatologists Club”

若手医師にも日臨皮の活動や共同作業の楽しさを知ってもらう機会を作ります。

SDC：“Senior DC”

たまにはゆったりしましょう。

⑤健保&医療情報

⑥他県の皮膚科医会による企画など

⑦医療従事者を対象にした公開講座

6. その他

①日臨皮の会員でなくとも神皮の会員なら参加できます。

②託児所を設けます。

以上簡単に紹介しましたが、神皮伝統の「自分で楽しみながら仲間にも楽しんでもらう」精神が存分に発揮された会、参加して良かったと感ずる会にするために準備を進めています。神皮と日臨皮は別な組織ですが、とにかく神奈川で1,000人以上が集う会が開催されるのです。事務局からは様々な企画やサポートを提供しますので、皆さまには通常の参加者としてだけでなく、全国から集まる皮膚科医へのホスト役としても楽しんでいただければと思います。どうぞお楽しみに。

“My favorite sign 大募集”

My favorite signとは、「この所見があると〇〇を示唆する」「こういう経過は△△の特徴である」などなど、教科書には書いていないが診療のヒントになる“サイン”です。

会員の皆様が日頃の診療に役立っている“所見、症状や徴候”〈signs & symptoms (S&S)〉をぜひ蔵出しして頂いて、皆で語り合いませんか？

近日中に募集フォームが決まりますので、実行委員会S&S班の高須博 (htakasu@med.kitasato-u.ac.jp) までお問い合わせください。